

2006年第2回定例会(9/19~10/13) 報告

自民・公明が支える中山区政で区民の命と健康が守れますか？

近藤区議が行った代表質問の続きをご紹介します。パート2です！

医療「改悪」にNO！

前小泉内閣の税制「改悪」により、老年者控除の廃止、年金控除の縮小、定率減税の半減などにより、高齢者や低所得者の負担が増大しています。今年の住民税や国民健康保険料の通知書を受けとり「なぜ去年と収入が変わらないのに、こんなに上がったしまったのか」と問合わせや怒りの声が担当窓口で寄せられました。

また、先の通常国会で自民・公明が強行成立させた医療制度は、高齢者を中心にさらに追い打ちをかけるものです。

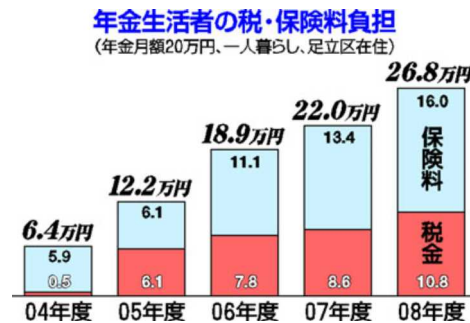
この10月から70歳以上の「現役並み所得者」に区分された方は医療費負担が3割。「現役並み所得者」以外の70歳から74歳までの方は08年4月から2割負担になります。あわせて、10月からは療養病床に入院している70歳以上の方の食費・居住費相当分が自己負担になります。そして療養病床を6年間で23万床削減することや、「混合診療」を本格的に導入し、保険の利かない医療を拡大が行われようとしています。

これら一連の改悪は、「所得の格差」が「診療の格差」「命の格差」

高すぎる国保料を下げ、減免制度を作って！

国民健康保険料は5年間連続値上げされました。国保料値上げに苦しむ区民の立場にたち、当面新宿区独自で国保料の一般減免制度の適用基準の緩和や手続きの簡素化、医療費一部負担金の減免基準を大幅に緩和するなど、お金がなくて区民が医療が受けられないことがないように新たな施策を行うべきでは。

と近藤区議が問いました。区長は国民健康保険料については「保険者負担分医療費の2分の1を保険料でまかなうという原則に基づき、23区統一保険料方式により算定している」



↑高齢者に襲いかかる08年までの負担増のシュミレーション。どうやって暮らす？（「赤旗しんぶん」より）

となる危険を一層拡大させ、「医療難民」を生み出し、「改革」どころか医療そのものの「危機」です。医療の皆保険制度を守り、窓口負担の引き下げを国に要求すべきと要望したところ

中山区長は、「区としては、医療制度改革が国民の安心の基盤である国民皆保険制度を将来にわたり持続可能にするための改革であると認識」しており、「特に高齢者の医療費増が見込まれる中で、負担が増大し皆保険が維持できなくなるおそれがある。」「現役並みの所得がある方に、現役世代と同様の負担をお願いすることなどは止むを得ない」と痛みの認める答弁をしています。

みなさん、新宿区は現在何にでも使える基金が166億円もあります。これでいいのでしょうか

「現在でも既に多額の一般財源の繰入を行っている」から「保険料自体を引き下げることについては、考えておりません」と答弁し、保険料の一般減免制度及び医療費の一部負担金減免制度については「23区統一保険料方式を採用し」「減免についても、共通基準に基づき実施」「減免の認定については、世帯の実収月額と基準額を比較して行なうもので、実収月額を確認できる書類の添付等をお願いしている」だから「区独自の保険料軽減措置は困難である」と答えています。

子どもも高齢者も輝く新宿へ

こんにちは

日本共産党新宿区議会議員

近藤なつ子です



No.98 2006.10.15 発行：日本共産党新宿区議団
区議団控室：TEL5273-3551、Fax3200-1474
TEL 090-4849-3227、Fax3200-5163
e-mail : natsuko_kon86@muf.biglobe.ne.jp
HP : http://www5e.biglobe.ne.jp/~natsu86/



10月15日(日) 田村智子さんと一緒に訴えます

午後1時～ 柳町よしや前

午後4時半～ 戸山ハイツ33号棟前

＊＊ぜひご参加ください＊＊

近藤区議を含めた区議団と田村智子さんとで新宿区内を訴えます。

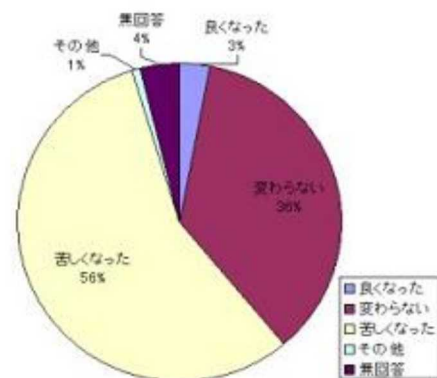
日本共産党区議団が実施している

新宿区政アンケート ご協力ありがとうございます!

10月11日現在で、2002通の返信をいただきました。
1861分での中間報告を一部させていただきます。

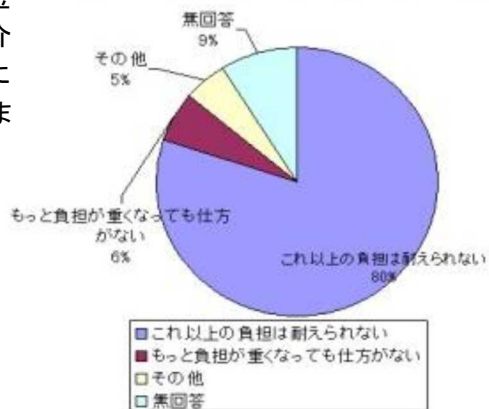
問: あなたのくらし
むきは、良くなった
と思いますか?

あなたのくらしむきは、良くなったと思いますか?



問: 今後の税金
や健康保険、介
護保険の負担に
ついてどう思いま
すか?

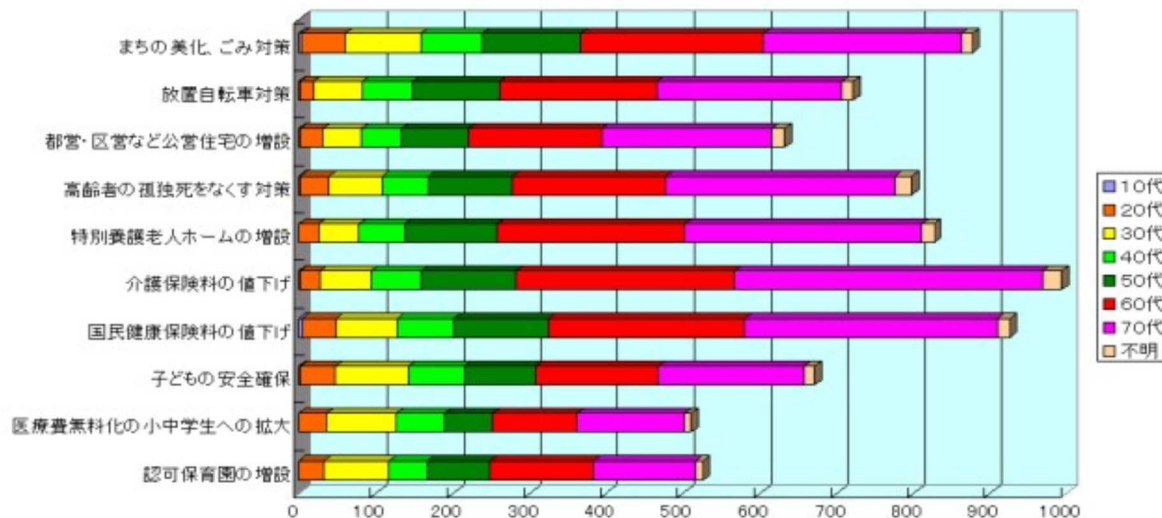
今後の税金や健康保険、介護保険の負担についてどう思いますか?



《自由意見 こんな声が寄せられています》

- 新宿に賃貸で住み夫婦とも勤めて、各区税を納めています。なんらかの補助があるかと思いましたが、調べたところありませんでした。仕事を辞めるわけにもいかず、子作りはあきらめました。せめて住宅費でも多少なりサポートがあれば、と残念です。(40代 女性)
- 医・保険料も高い。税金も。これ以上生活していく上で必要な物への消費税アップも大反対。生まれて死ぬまでお金がかかるのはわかるが、病気にもなれない。死ぬに死ねない国にはこれ以上ならないで!(50代 女性)
- 現在66才、来年の2月に退職の予定です。住宅の事・生活費の事が心配です。今は健康ですが、いつどうなるかと思えば多少不安があります。安

- い家賃で残り少ない人生を最小限でいいですから面倒見て欲しいと思います。現在共同トイレ風呂なしで生活しています。(60代 男性)
- 高齢ながら仕事をいたしておりますが(90代の母がおります)、地方税、介護保険料と高額になり、母の要介護2だったものが、この度要支援2に格下げになり、母の状態がよくなっているのならうれしいが、悪くなっているのに格下げはおかしいと思います。このように弱者にしわよせがくるような政治はよくないと存じます。国民みんなが笑いながら生活できるよう、希望します。(60代 女性)
- とくに他の区と比べ遅れている医療費の小学生以下無料化、保育料の軽減と就学援助などを積極的に起こさうべき。(40代)



無料

近藤なつ子事務所の

くらし・法律相談

11月14日(火)午後7時~8時の予定

※事前に必ずご予約ください

◇その他いつでもお気軽にご相談ください